

みずほCustomer Desk Report 2017/07/20 号(As of 2017/07/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.99 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.99	1.1548	129.34	0.9552	1.3032	0.7919
SYD-NY High	112.23	1.1557	129.48	0.9560	1.3053	0.7960
SYD-NY Low	111.56	1.1510	128.58	0.9530	1.3011	0.7910
NY 5:00 PM	112.00	1.1515	128.89	0.9557	1.3023	0.7954
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.825/8.25		△25RR	1.175	Yen Call Over	
NY DOW	21,640.75	66.02	債券市場	日本2年債	-0.1100	▲0.9bp
NASDAQ	6,385.04	40.74		日本10年債	0.0750	0.3bp
S&P	2,473.83	13.22		米国2年債	1.3560	0.8bp
日経平均	20,020.86	20.95		米国5年債	1.8246	1.2bp
TOPIX	1,621.87	1.39		米国10年債	2.2696	1.1bp
シカゴ日経先物	20,035.00	35.00		独10年債	0.5420	▲1.2bp
ロンドンFT	7,430.91	40.69		英10年債	1.1920	▲1.5bp
DAX	12,452.05	21.66		豪10年債	2.7230	▲2.1bp
ハンセン指数	26,672.16	147.22		為替市況	USD/CNH	6.7594 0.0096
上海総合	3,230.98	43.41		ドルインデックス	94.78	0.17
USDJPY 3M Vol	8.57	0.00%	商品市況	CRB指数	178.656	1.78
USDJPY 6M Vol	8.87	▲0.01%		NY金	1,242.00	0.10
EURJPY 3M Vol	9.35	▲0.10%		WTI	47.12	0.72
EURJPY 6M Vol	9.66	▲0.09%		Dubai Spot	47.74	0.41

東京	東京時間のドル円は111.99レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎ米金利が低下したことに加えて、日経平均株価が下落したことを受けてドル円は一時111.88まで下落。しかし、111円台後半では相応の押し目買い意欲も見られ、112円台を回復。その後は目立った新規材料のない中、112円台前半を中心とした方向感に欠けるもみ合い推移となった。引けにかけて日経平均株価が上昇する展開となると、ドル円も連れ高となり東京時間高値となる112.23を付けた後、112.07レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は112.07レベルでオープン。トランプ米大統領の政策運営への懸念が強まり、ドルの上値が抑えられる一方で、翌日の日銀金融政策決定会合の結果発表を前に、ETF(指数連動型上場投資信託)買い入りの持続可能性に対する懸念が浮上していること等を背景に円買いが優勢となったことで、ドル円は111.89まで値を下げ、111.96レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1536レベルでオープン。ECB理事会メンバーのビル・ロッドガロー中銀総裁が、緩和的な金融政策について「引き続き必要」と発言したことで「テーパーリング」観測が遠のくと1.1515まで小幅に下落し、1.1529レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	翌日に日銀金融政策決定会合、ECB理事会を控え、海外時間のドル円は112.00を挟んで方向感なく推移し、111.96レベルでNYオープン。朝方発表された米6月住宅着工件数は市場予想を上回り、4ヶ月ぶりにプラスとなったことからドル円は112.00まで上昇。しかし、米金利低下やクロス円下落を受けてドル円は前日安値の111.69付近のストップを巻き込み111.56まで急落。その後、EIA在庫統計で原油在庫の減少が明らかとなり、WTI原油が続伸したことや、米株の堅調な動きを受けてドル円は反発。111円台後半での推移が続く。112.00レベルでクロスした。なお、S&P500種とナスダックは良好な企業決算が好感され史上最高値を更新した。また、日中は「トランプ大統領：上院共和党、オバマケア撤廃するまで夏季休会先送り」との報道が伝わったが、市場への影響は限定的となった。ユーロドルは軟調な推移となり、1.1529レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けてドル売りが強まり、ユーロドルは1.1538まで上昇。しかしECB理事会を翌日に控え積極的な取引は控えられ、1.15台前半でのじり安推移となり、1.1515レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 伊藤・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
7月19日	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	6.3%
	21:30	米	住宅着工件数/建設許可件数	6月 1,215K/1,254K	1,160K/1,201K

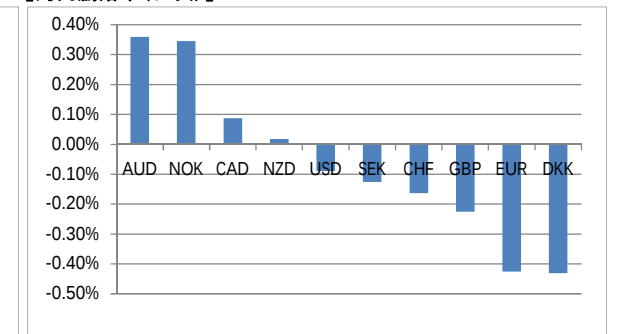
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
7月20日	8:50	日	貿易収支	6月 ¥488.0B	-¥204.2B
	10:30	豪	雇用者数変化/失業率	6月 15.0K/5.6%	42.0K/5.5%
	-	日	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.100%
	15:30	日	黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	17:30	英	小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	6月 0.5%/2.5%	-1.6%/0.6%
	20:45	欧	ECB理事会 ECB主要政策金利	-	-0.400%
	21:30	欧	ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	245K 247K
	23:00	欧	消費者信頼感	6月 -1.2	-1.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-113.00	1.1400-1.1600	128.00-123.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は下に行きつて来いとなる展開。海外時間の序盤は米金利の低下に加え、注目された米中包括経済対話が不調となり、終了後の記者会見が中止されたことを受けて、ドル円相場も111円台半ばまで下落。その後は日銀金融政策決定会合、ECB理事会を本日に控える中、買い戻される格好に。本日は底堅く推移する展開を予想する。本日東京時間は日銀金融政策決定会合に注目が集まるが、金融政策は現状維持、展望レポートは物価見通しの引き下げが見込まれ、大きな波乱要因とはなりにくいものと思われる。昨日海外時間に111円台半ばから戻ってきたように、下値の堅さが意識される展開となろう。